

【茨城県常総市】空き家活用を"人"から動かす「さかさマルシェ」関東初開催 ～出店申込24組のうち3組は、すでに市内で物件を探し中～



株式会社On-Co(本社：三重県桑名市、代表：水谷岳史、以下On-Co)は、茨城県常総市と連携し、不動産オーナーと実店舗を探す挑戦者をつなぐ「さかさマルシェ@常総市」の第1回を、2026年10月10日(土)に水海道まんなかセンター「みつかる」(茨城県常総市水海道宝町3372-1)で開催します。

出店申込は24組あり、そのうち3組はすでに常総市内で物件を探しており、「ゆくゆく持ちたい」という層を含めると、**14組(約6割)**が物件探しを視野に入れながら出店します。さかさマルシェの関東での開催は初めてとなります。今回を含め市内で計3回開催し、**空き家活用が「人との出会い」で進む可能性を検証**します。

背景 | 「誰に貸すか」から始める空き家活用

空き家が増えるなか、市場に出ていない潜在空き家も多く、実際に借りられる物件が限られていることは全国共通の課題です。そのため、移住や創業などの受け皿にもつながる**物件の掘り起こし**が求められています。

On-Coは2020年より、借りたい人の想いを公開し、共感した不動産オーナーが借り手を選ぶ「さかさ不動産」を展開。**「誰に貸すかを大切にしたい」という想いに寄り添い、一般流通に出てこなかった潜在空き家を掘り起こしてきました。**

さかさマルシェでは、その考え方をリアルな場に広げ、**まず借り手の「どんな人が、何をしたいのか」**を地域に可視化。不動産オーナーや地域との出会いから、空き家活用が進む可能性を探ります。

常総市 | 空き家の「見える化」から「活かす」段階へ

常総市では市内を調査し、自治会の協力も得ながら、令和8年3月末時点で**約630件の空き家を把握・分類**してきました。

次の課題は、把握した空き家と**「誰が、何のために使うのか」という担い手との接点**です。今回は、その次の段階として実施します。

出店申込者の58.3%が物件探しを視野に

第1回の出店申込は24組でした(実際に出店は23組)。うち14組(58.3%)が物件探しを視野に入れており、現在物件を探している3組は、いずれも常総市内を候補にしています。

出店申込：24組 | 物件を探しながら出店を希望：14組(58.3%)

現在常総市でも物件を探し中：3組(12.5%) / ゆくゆく常総市でも物件を探す予定：5組(20.8%)

つまり常総市での出店・開業を視野に入れているのは8組(33.3%)となります。

※出店申込フォームより集計(2026年6月24日～7月31日、n=24)。各項目には重複があります。

昨年度の愛知県大府市では、マルシェ当日に物件内覧へ

先駆けてさかさマルシェを開催した愛知県大府市では2025年12月～2026年3月に計4回開催し、出店申込106組のうち63組(59.4%)が物件探しを視野に入れていました。

株式会社On-Co PR担当:福田 | TEL:080-5984-7800 | E-mail:support@on-co.co